

会 議 録

第 6 回定例会

開会 平成 2 5 年 7 月 1 1 日

教育委員会会議録

1 開 会 平成25年7月11日 午後1時00分

2 閉 会 平成25年7月11日 午後2時00分

3 出席委員
委員長 佐藤 紘子
委 員 水口 艶子
委 員 田村 典子
委 員（教育長）佐野 義行

4 出席者
副 教 育 長 小原 直樹
教 育 次 長 富樫 敏彦
教 育 次 長 藤井 伊佐子
コンプライアンス推進室長 末善 守
学 校 政 策 課 長 前田 幸宣
福 利 厚 生 課 長 第十 道広
教 育 総 務 課 長 川村 章二
教 育 総 務 課 副 課 長 阿部 淳子

[開 会]

委員長 定例会を開会する旨を告げる。

[会議録の承認]

委員長 配付されている会議録を承認して差し支えないかを各委員に諮る。

各委員 異議なし。

委員長 会議録を承認する旨を告げる。

[教育長報告]

教育長 6月定例県議会における審議結果について報告する。

〈質 疑〉

なし

[議 事]

委員長 報告事項1を非公開として差し支えないかを各委員に諮る。

各委員 異議なし。

委員長 そのように取り計らうこととし、議事に入ることを告げる。

《議案第28号 徳島県立高等学校通学区域等に関する規則の一部を改正する規則について》

委員長 説明を求める。

学校政策課長 改正理由、改正点等を説明する。

〈質 疑〉

教育長：高知県の甲浦あたりの者が自宅から一番近くにある海部高校へ通学するために出願したり、香川県の引田あたりの者が自宅から鳴門高校へ通学するために出願したりするケースがある。今回の県外志願者受入条件の緩和で、保護者の居住場所に関する記述はそぐわなくなるため削ることにした。

水口委員：今回第2項を削ることによって、これからは県外志願者はどこの高校にも出願できるようになるのか。

学校政策課長：出願先については、保護者の住所に基づいて教育長が承認する形をとっている。また、生徒だけでの転住の場合は、平成26年度と平成27年度の入試において、那賀高校、海部高校、鳴門渦潮高校の3校に限って試行実施するので、この3校にだけしか出願できない。

水口委員：県外志願特例措置願には、理由とかを書くのか。

学校政策課長：理由を書くようになっている。

水口委員：県外志願特例措置願が出てくれば、教育長は当該高校の校長先生などと相談したりするのか。

学校政策課長：県外志願特例措置願は教育委員会に提出されるので、高校とは相談せず教育長が承認している。

委員長：昨年度の入試では、県外志願者は何人承認されたのか。

学校政策課長：３５人である。

委員長：通学で承認されたのは、甲浦地区の者だけか。

学校政策課長：そうである。

委員長 議案第２８号を原案どおり決定してよいかを諮る。

各委員 異議なし。

委員長 議案第２８号を原案どおり決定する旨を告げる。

《報告事項２ リーディングハイスクールについて》

委員長 説明を求める。

学校政策課長 概要等を説明する。

〈質 疑〉

水口委員：本事業を実施するに当たり、何か具体的な評価指標が「第２期徳島県教育振興計画」に示されているのか。

学校政策課長：「第２期徳島県教育振興計画」には「グローバル人材を育成するための拠点校を『リーディングハイスクール』として位置付け、戦略的な支援体制を構築する」との記述があるものの、現段階では具体的な評価指標を設けていないため、６年後の成果だけでなく途中経過についても、しっかりと状況を把握し、目標達成に努めて参りたい。

水口委員：本事業を、他の併設型中高一貫教育校（川島中高、富岡東中高）に拡大する予定はあるのか。

学校政策課長：教育資源の選択と集中の観点から、まずは城ノ内中高の１校において確実に成果をあげることを目指しており、現時点では他の中高一貫教育校へ拡大する予定はない。

田村委員：リーディングハイスクールでは、文武両道として勉強以外の面でも同じように強化するのか。

学校政策課長：県内でスポーツ指定校を設けているのと同じように、学力を強化する

指定校と考えているが、豊かな人間性を養うために、部活動等の勉強以外の面においてもこれまでどおり取り組んでいく。

教育長：スポーツ、文化だけでなく、学力においても成果が求められている。

水口委員：高校段階から入る外進生の募集について、新たな追加条件等は出てくるのか。

学校政策課長：本事業を実施するに当たり、特に新しい条件はなく、従来と同じ募集である。

委員長：リーディングハイスクール事業推進委員会等の協議内容について、どのような意見が出たのかを知りたい。

学校政策課長：「リーディングハイスクール事業推進委員会」を3月から5月までの期間に計4回、義務教育担当指導主事及び高校教育担当指導主事で構成する「ワーキング・グループ」を計3回開催し、リーディングハイスクールの取組の柱として、内進生と外進生のクラスを分けた方が良いという意見も出たが、混合クラスの方が学校の活性化につながるという結論に至った。また、先取り学習をするに当たって、高等学校の内容は高校教員が教える方が高い効果が見込まれるなどの意見が出た。

委員長：学力のみならず、人としての教育やスポーツなどにもがんばって欲しい。小6の入試ということであるが、それだけでなく、子どもたちをたくましく育てるという小学校の教育の中で、県全体の意識が高まって欲しい。

教育長：これまでのような横並びでなく、今後、各学校が切磋琢磨して欲しい。

委員長 報告事項2を了承する旨を告げる。

[非公開]

《報告事項1 公益通報の受付・処理状況について（平成25年4月～6月分）》

（非公開につき、議事の内容については省略）

[閉 会]

委員長 本日の議事が全て終了したので閉会する旨を告げる。

閉 会 午後2時00分